

第27回全国健康福祉祭 ねんりんピック栃木2014

期日 平成26年10月4日(土)～6日(月)
会場 栃木県さくら市
さくら市氏家体育館・黄連川体育館



北海道ソフトバレーボール連盟 便り



平成26年12月5日 26年-03
北海道ソフトバレーボール連盟
総務副委員長(広報担当) 滝本 久子
〒047-0034 小樽市緑3丁目10-26
TEL・FAX 0134-25-8706
E-mail taki3@s3.dion.ne.jp

ねんりんピック栃木大会に出場して

☆北海道代表 旭川黄連雀A(旭川連盟)代表 成田 裕保

黄連雀チームは、6年連続の出場で一昨年は銀、昨年は銅メダルを獲得しており、今年は金メダルを目指して挑みました。「ねんりん栃木大会」が晴天の中、総合開会式が行われ、アトラクションでは日光にて行われている流鏝馬が披露され、心に深く残っています。その後、さくら市で開会式が競技前日に行われました。



試合1日目、予選リーグ戦では、愛知県の「ウッド・ワン」北九州市の「大吟醸」と対戦。緊張感から動きが鈍かったが、持ち前の女子のレシーブ力で2勝。ブロック1位で終わる。

余り時間がありましたので応援の仲間と、道の駅での温泉入浴、さくら市のミュージアム荒井寛方記念館を見学、さくら市の歴史に触れ、ちょっぴり癒しの一時でした。

2日目順位別ブロック戦では、石川県「小坂SVC」浜松市「SVC」と対戦。「小坂SVC」では、相手の強烈な攻撃とブロックでリズムがつかめず完敗。力の差を実感させられました。1勝1敗であったが、得失点差で昨年と同じ3位となり、「銅メダル」を首に掛けることが出来ました。

私達のチームの誇りの一つは、試合に出場しない人達が応援団として参加していることです。今大会も7名の応援団に支えられ大きな力になったと思います。

全国大会を初めて経験する若い5名のメンバーが入ったの素晴らしい成績を取めたことは「旭川黄連雀」も全国で常連チームとして評価を得られることになったと思います。

今後は世代交代しながら、黄連雀の歴史、目的を踏襲しながら来年、再来年の「ねんりんピック全国大会」に向けて、生涯スポーツとして発展していくことが大切だと感じております。

閉会式フィナーレに、人が輝き、絆を育み、地域を創り、そして、栃木の魅力を発信された元気な大会に涙しました。

ねんりんピック栃木大会へ行ってきました

☆札幌市(政令都市)代表 札幌さくら(札幌連盟) 広報担当

栃木県さくら市で行われました「ねんりんピック栃木2014」へ札幌市代表として参加してきました。メンバーは高坂監督をはじめ、札幌さくらの鈴木、長谷、高橋、塚本、谷口、能登、大屋の8名です。



台風上陸が心配されましたが、開会式には1万人という大勢の参加者と高松宮様ご臨席のなか、ガッツ石松親子による炬火台への点火により華やかに開催されました。

前回参加した「ねんりんピック宮城大会」では、1勝することを目指し無欲で試合に臨み結果は1位グループ準優勝で銀メダルをもらいました。今回はその時より多い練習をしていきましたので『今回は**メダルがほしい』と選手全員がひそかに思い望んだ大会でした。結果は…残念!

予選リーグ1回戦の対戦相手は、私たちのチームよりはるかに高齢の「倉敷中洲チーム」でした。公式練習までは楽勝かな

と思っておりましたが、わがチームは「絶対に勝つ」とのプレッシャーで動きがぎこちなくレシーブ、スパイクとことごとくミスで連発、相手は9人制バレーを知り尽くしたような両手を開いたアンダーパスでなかなかボールがコートに落ちません。試合をしたとの実感がないうまに2-0で敗退しました。予選2回戦はフルセットの末2-1で何とか勝利し1勝1敗で順位別リーグ戦の2位グループへ進みました。

順位別リーグ戦は、実力が伯仲したチームの対戦で2試合ともフルセットでした。1試合目地元栃木のチーム2-1で負け、2試合目山形のチーム2-1で勝。メダルは取れませんでした。2日間4試合11セットを戦ってきました。十分に汗をかきましたし交流ができました。沖縄をはじめ数チームとは釧路で会いましょうと握手をしてきました。ただ残念だったのは、2会場での大会であったことと私たちの会場では観覧席がなく、廊下でつながっている公民館の選手控え場所で試合会場を写したプロジェクターでの観戦でした。どこのチームが試合をしているのかまるで分かりませんでした。

それと、台風が接近とのことでせっかく準備をされていたテントでのおもてなしコーナーと出店が全て商品を並べる前に撤去されたことでした。

今回の参加者で最高齢者の方は79歳でした。私たちさくらのメンバーはそこまでは出来ませんが2年後の長崎大会で最後の花を咲かせたいと思い、これからも練習を続けます。

最後に ご声援をくださった道連盟の皆様をはじめ 多くの方のご声援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2014全国スポレク in 豊田に出場して

期日 平成26年10月31日(金)～11月2日(日)
会場 愛知県豊田市「スカイホール豊田」

ゼロス(札幌連盟) 代表 滝本 和義



1位リーグ優勝
おめでとう!

第3回全国スポレク大会に昨年(第2回)に引き続き出場させていただきました。全国48チームが参加し、1日目予選リーグを4チーム(3試合)行い、2日目順位別に4チーム(3試合)行いました。

ゼロスの結果は、1日目①福島県、②鳥取県、③愛知県と対戦し、選手全員が集中した中で戦うことができ3戦全勝で「1位リーグ」へ進むことができました。

2日目は、各ブロック1位の強豪チームばかりの対戦で①石川県、②宮城県③新潟県と対戦し、ここでも2-8の逆境でもあきらめない試合展開ができ結果3チームが2勝1敗で並び、セット率でゼロスが「1位リーグ優勝」することができ、選手全員が感激し生涯においても心に残る大会となりました。また、夜の交流会においても全国チームの仲間から声をかけられ「北海道の大会に呼んでください」とか、「また来年も!」とかで全国の仲間も出来ました。

最後に、今大会参加にあたり北海道連盟関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



Pure



来夢



札幌さくら



千歳クラブ

シルバーフェスティバル試合風景



旭川選抜



新川大五露



S O L E